

セカンドレベル申込時の小論文について

<p>【小論文の課題】</p> <p>部署の責任者という管理的な視点で、自部署における看護サービスの提供について、課題となる事実と状況を地域包括ケアシステムの視点を加えて述べてください。</p>
<p>1 課題に対するテーマは各自で設定する。 （「患者または利用者に提供する看護サービスとして何を行うのか」の視点で考えること）</p> <p>2 小論文は A4 用紙縦長・横書き・おもて 1 枚とする。（富山県看護協会ホームページより、小論文用フォーマットをダウンロードする）</p> <p>3 表紙は不要である。</p> <p>4 本文は 1,000～1,200 字以内とし、末尾に文字数を記載する。（引用・参考文献の一覧は文字数に含まない）</p> <p>5 本文のフォントは M S P 明朝体、10.5 ポイントで記載する。</p> <p>6 提出された小論文は返却しない。</p>

小論文の評価基準について

項 目	評価の視点
I 内容・看護管理者の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・課題（テーマ）に応じた内容が盛り込まれている ・プロセスが記載されている ・看護管理者としての哲学・姿勢・信条等がうかがえる ・今後の看護管理活動について方向性が明確である ・自身の看護管理上の課題が明確である
II 概念化能力	<ul style="list-style-type: none"> ・事実や経験が概念化されている ・専門用語の定義や概念の表現が適切である ・洞察力に基づく先見性、論理的思考力、問題解決力、応用力などが読み取れる
III 論述能力	<ul style="list-style-type: none"> ・文章が明確でわかりやすい ・論文の構成が論理的である ・日本語表現が適切である ・字数制限が守られている

*評価基準に基づき評価し、60 点以上を合格とする

小論文記載例

（小論文用フォーマットは、富山県看護協会ホームページよりダウンロードする）

別紙 1

テーマ	
施設名	
氏 名	
本文	
（末尾に文字数を記載）	
引用文献・主な参考文献を記載（記載方法は次ページを参照）	

引用文献一覧の記載方法について（参考文献の記載方法は引用文献に準じる）

1 引用文献は、引用順に本文の引用箇所の上に¹⁾ ²⁾と番号をつけ、本文の最後の一括して引用番号順に記載する。 <例> 清瀬¹⁾は、「〇〇〇」と述べている。

2 引用文献は、次のように記載する。

【雑誌掲載論文の場合】 著者名：表題名, 雑誌名, 巻(号), 頁, 発行年(西暦年次)。

<例> 学会花子：看護研究の〇〇〇について, 〇〇看護, 25(11), p. 35, 2008.

<例> 学会花子, 日本協子, 清瀬看子, 他：看護の研究, 第〇回日本看護学会論文集(看護管理), p. 5, 20△.

【単行本の場合】 著者名：書名(版), 発行所, 頁, 発行年(西暦年次)。

<例> 学会花子：看護実践研究の手引き(3), 〇〇看護出版, p. 145, 2006.

【単行本の場合】 著者名：表題名, 編者名, 書名(版), 発行所, 頁, 発行年(西暦年次)。

<例> 学会花子：研究における〇〇, 日本協子編, 看護実践研究(2), △△出版, p. 76, 2007.

【翻訳書の場合】 原著者名：書名(版), 発行年, 訳者名, 書名(版), 発行所, 頁, 発行年(西暦年次)。

<例> Alice Williams：Nursing Research(4), 2001, 学会花子訳, 看護研究(4), 〇〇看護出版, p. 298, 2003.

【電子文献の場合】 著者名：表題名, 雑誌名, 巻(号), 頁, 発行年(西暦年次), アクセス年月日, URL.

発行機関名(調査/発行年次), 表題, 頁, アクセス年月日, URL.

※ 公的機関から提供される情報(統計、法令等)、電子ジャーナルのみを対象とする。

<例> 文部科学省, 厚生労働省(2014), 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針, p. 3, 2015年4月10日閲覧, <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf>.

3 共著者は3名まで表記し、それ以外は他とする。

4 同じ文献から複数回引用する場合は¹⁾ ²⁾と番号をつけ、2回目以降は前掲書として記載する。

<例> 1)学会花子：看護研究の〇〇〇について, 〇〇看護, 25(11), p. 35, 2008.

2)前掲書 1), p. 100.

5 引用・参考文献一覧記載例

引用文献

1)学会花子：看護研究の〇〇〇について, 〇〇看護, 25(11), p. 35, 2008.

2)前掲書 1), p. 100.

3)学会花子, 日本協子, 清瀬看子, 他：看護の研究, 第〇回日本看護学会論文集(看護管理), p. 5, 20△.

参考文献（主な参考文献を記載する。スペースがない場合は、参考文献の記載は省いてよい）

1)学会花子：看護実践研究の手引き(3), 〇〇看護出版, 2006.

2)学会花子：研究における〇〇, 日本協子編, 看護実践研究(2), △△出版, 2007.